

市税収入 過去最高を記録！

令和5年度の市税収入は3%の大幅増88.6億円となり、2年連続で過去最高額でした。

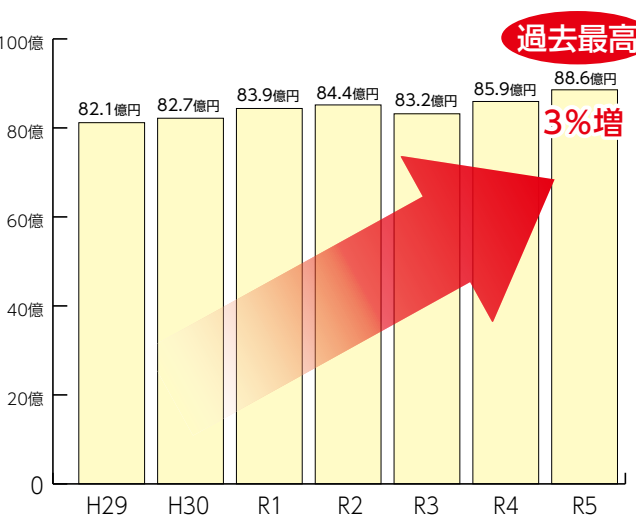
個人住民税と固定資産税が増加しました。背景には、全国的な賃金の引上げや、本市の全世代居場所と出番構想の推進による働き世代の人口増加、新築家屋増加の動きが見られます。

また、観光客が回復したことで、たばこ税や歴史と文化の環境税も増加しました。

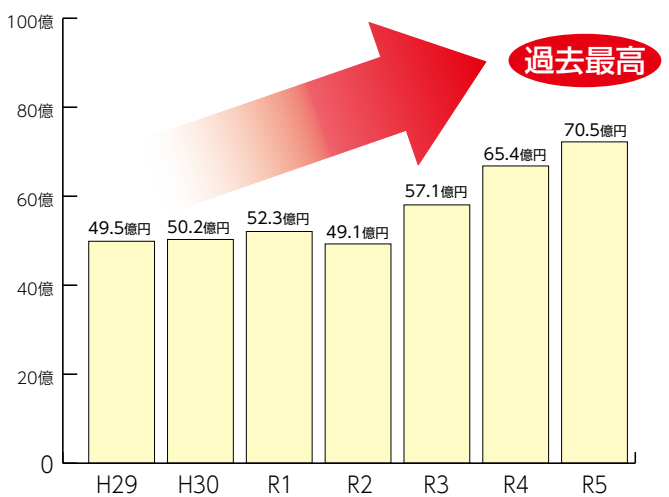


太宰府市の税金は高い？

市県民税は地方税法に基づいて課税されるため、どこの自治体も大きく変わりません

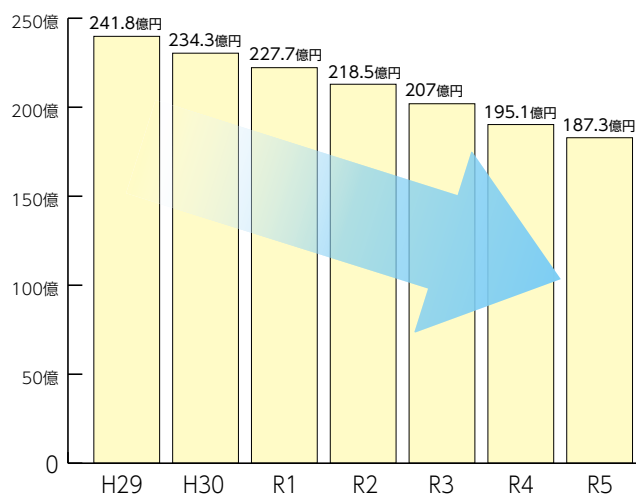


基金(貯金)は着実に積立！



市の貯金にあたる基金は、令和5年度末時点で70.5億円の過去最高額となっています。この数年、飛躍的に増加しているふるさと納税を基金に積立した影響が大きいです。基金の目的によってさまざまですが、災害や公共施設の改修など、将来に備えて積極的に積立しています。

市債(借金)は着実に削減！



市の借金にあたる市債残高は、令和5年度末時点で187.3億円ほど。水城小学校の建替えなどのために新たに借入もしましたが、それ以上に返済していて、楠田市長就任以降、一貫して減少しています。市の借入には世代間で負担を分担するという意味合いがあります。

財政状況は健全です

次の各指標は、数値が低いほど健全であることを示します。すべての指標で健全でした。

	本市		
実質赤字比率	黒 字	12.78%～	20%～
連結実質赤字比率	黒 字	17.78%～	30%～
実質公債費比率	2.7%	25%～	35%～
将来負担比率	負担なし		350%～
資金不足比率	不足なし		20%～

健全

黄信号

赤信号

悪化

令和5年度 決算の報告

決算のポイント 編

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線535)
財政係(☎内線502)

- 1

市税収入 **3%増** 過去最高の約**88億6千万円**

子育ての 施策展開 実を結び 人も市税も さらに増えゆく

P 3へ
- 2

ふるさと納税受入額 **1.5倍 18億円超**を達成

ふるさとを 想う気持ちが 集まって ふるさと納税 さらに飛躍し

P 4へ
- 3

実質収支 約**16億4千万円**の黒字

支出減 収入増を 心がけ 実質収支は 黒字決算

P 5へ
- 4

基金(貯金)残高 約**5億1千万円**増加

だざいふの 未来のために コツコツと 基金残高 最高到達

P 3へ
- 5

市債(借金)残高 **6年連続**で減少

新しく 借った額より 返済し 市債残高 右肩下がり

P 3へ
- 6

財政状況 **6年連続**健全性を維持

さまざまな 分野の事業 進めつつ 財政状況 オールグリーン

P 3へ



教えて、財政のこと 編



どれくらいの収入や支出があったの？

次の表のとおりです。すべての会計で黒字でした。
一般会計は16.4億円の黒字でした。



一般会計・特別会計

会 計 名		①歳入総額	②歳出総額	③差引額(①-②)	④翌年度繰越	実質収支額(③-④)
一 般 会 計		336億2,980万円	316億7,172万円	19億5,808万円	3億1,777万円	16億4,031万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	68億5,020万円	67億8,759万円	6,262万円	-	6,262万円
	後期高齢者医療	14億5,464万円	14億744万円	4,720万円	-	4,720万円
	介護保険事業	保険事業勘定	56億7,588万円	56億1,435万円	-	6,153万円
		介護サービス事業勘定	5,392万円	5,392万円	-	-
	住宅新築資金等貸付事業	232万円	177万円	55万円	-	55万円

企業会計

会 計 名		区 分	収 入	支 出
水 道 事 業	収 益(水道料金などによる収支)		14億6,796万円	13億425万円
	資 本(施設建設などによる収支)		1億6,576万円	6億2,048万円
下 水 道 事 業	収 益(下水道使用料などによる収支)		17億9,340万円	13億9,309万円
	資 本(施設建設などによる収支)		1億7,384万円	8億4,238万円

(消費税込み)

太宰府市の水道料金は高い？
使用水量20立方メートルの場合、水道料金と下水道使用料を合わせると福岡都市圏17団体中7番目に安いです。

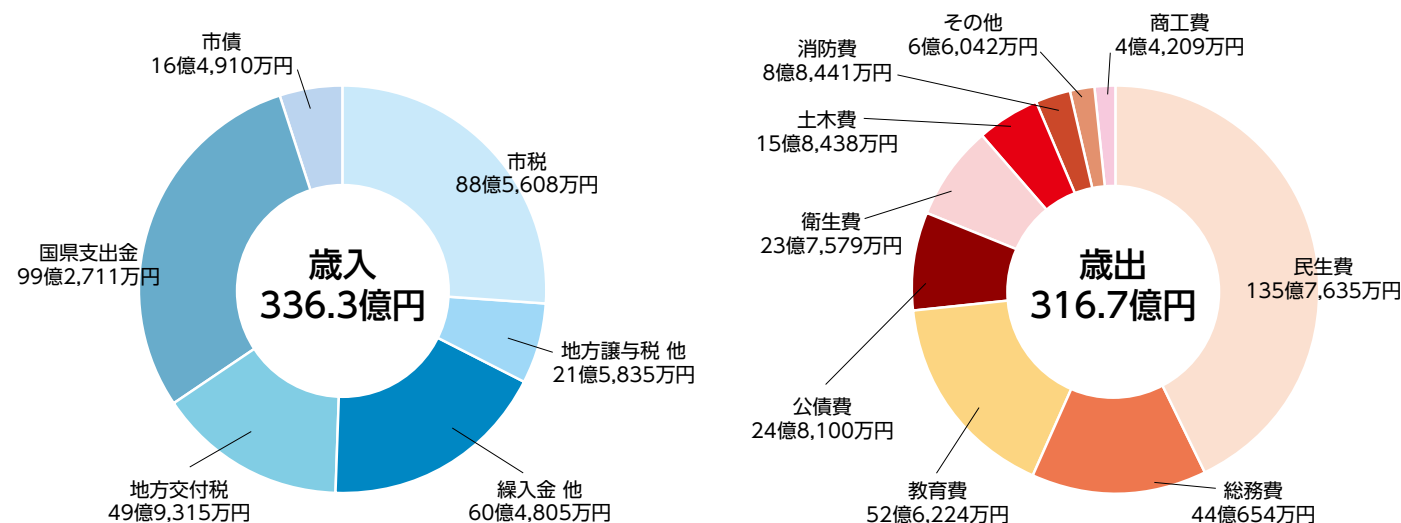


どんな収入や支出があったの？

内訳は次のグラフのとおりです。
前年度に比べると、歳入は市税2.6億円増、ふるさと納税寄附金5.7億円増。全体で18.7億円増えました。歳出は社会保障や物価高騰対策の給付などで民生費が8.4億円増、水城小学校の建替などで教育費が12.6億円増。全体で21.9億円増えました。



普通会計の歳入・歳出 (一般会計・住宅新築資金等貸付事業)



ふるさと納税 編

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線512)
ページID:1210

過去最高額を更新！

ふるさと太宰府を愛する人や企業などから約18億3千万円の寄附がありました。
令和の都だざいふの更なる魅力アップのため、職員が市内外を問わず事業者と直接商談。本市限定や魅力あるお礼品を1,000品以上に拡充しました。ポータルサイトを増設し、現在9つのウェブサイトで出品中です。

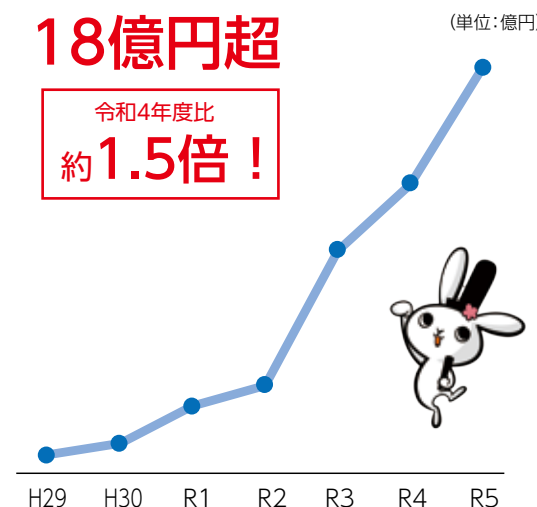


ふるさと納税寄附額

18億円超

令和4年度比
約1.5倍！

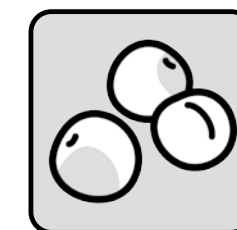
(単位:億円)



提供事業者を大募集！

楽天ふるさと納税サイトなどに掲載され、全国に商品をアピールできます。手数料や送料は市が負担。事業者の皆さんの負担を抑えながら売上アップ・地域活性化に繋がります。個別の相談は随時受付中。気軽に相談してください。

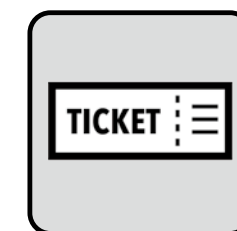
登録できるお礼品の例



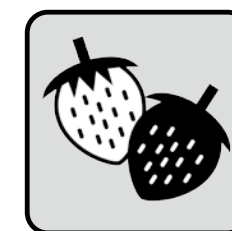
市内生産の原材料を使った製品



市内で製造・加工した食品、製品、雑貨



市内で提供されるサービス
(宿泊券や旅行券、体験チケットなど)



辛子明太子、豚骨ラーメン、あまおう、もつ鍋、博多和牛、水炊きなど17品目の福岡県共通の返礼品

第2の戦略 太宰府型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

中学校完全給食を始め子育て・教育環境の更なる充実

中学校完全給食の実施 1億7,127万円

令和6年1月10日に太宰府市立中学校全4校で待望の完全給食をスタート。市内に新設された民間調理場から、安全で安心な給食を提供し、次代を担う中学生の教育環境を充実させ、子育て世帯を支援しました。



不登校児童生徒支援の推進 4,731万円

市内2カ所につばさ学級を設置、中学校4校と小学校2校のサポートルームには不登校対応専任教員を配置しました。スクールソーシャルワーカーを3人配置するほか、市内大学と連携し、大学生が子ども一人一人に寄り添い安心して過ごせる居場所を作るキャンパススマイルを行うなど、児童生徒の不登校に対する支援に取り組みました。

ハードソフト両面からの全世代交流拠点の創設



全世代交流フリースペースの活用推進 875万円

誰でも気軽に学習・交流できる場所としていきいき情報センター1階にオープンした「全世代交流フリースペース」。学習などでの利用者が増えたことから、机を増設。さまざまな世代で交流できる、eスポーツ体験会などのイベントを開催。利用しやすい場を提供するため、清掃、設備管理、警備員の配置をしました。

全世代交流型移動図書館 2,331万円

移動図書館「すくすく号」のリニューアルを実施。今回で5代目の「すくすく号」は、お馴染みの黄色の車体に、令和の都だざいふ応援大使おとものタビットと市民図書館のキャラクターひよこが仲良く本を読んでいるイラストを描きました。車いすやベビーカーのまま乗り込み、直接本を選ぶことができる可動式リフトを導入しました。



新しい移動図書館
「すくすく号」で
待ってるよ！



お金の主な使い道 編

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線535)

令和5年度は「市民ニーズに応える令和の都だざいふ予算」に沿って、次のような事業を行いました。

第1の戦略 太宰府の底力総発揮構想(成長戦略)

令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトの更なる促進

令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト促進事業 1,106万円



既存製品を磨き、新製品9品を開発。太宰府梅園構想のもと、史跡地や公園に59本の梅の木を植栽しました。プロジェクトの中期事業計画を策定し、将来に向けた方向性と目標を確認。市内農家が梅をはじめとする農産物を出荷する手数料の一部を補助し、特産品開発の原材料となる農産物の生産・出荷量を増加させました。



ニュー太宰府構想の具体化

総合交通計画の改訂 356万円

渋滞問題の緩和や安全な交通環境の実現に向け、社会情勢の動向を踏まえた交通施策を示す総合交通計画の改訂を検討しました。自転車の役割拡大やサイクルツーリズムなどを推進するため、自転車の活用推進を検討しました。

企業誘致、起業創業支援の強化



コンサルティング企業による企業誘致支援 407万円

新たな取り組みとして、民間のコンサルティング企業のノウハウを活用し、太宰府市企業誘致戦略書を策定、企業誘致の方向性を明確にしました。コンサルティング企業主催の「自治体×企業マッチングイベント」に参加し、地域課題解決のための連携を提案する企業と誘致に向けて協議しました。

世界に羽ばたく人材育成の前進



世界に羽ばたく人材育成表彰・子ども学生美術展 93万円

令和の都だざいふらしい次代を担う若い才能を顕彰し育成する「世界に羽ばたく人材育成表彰」「令和の都だざいふ 子ども学生美術展」を実施。人材育成表彰では93人・15団体を表彰。美術展では700点を超える応募作品の中から、太宰府市長賞をはじめ、52点の入賞作品を表彰・展示しました。

太宰府ならではの観光文化財施策の更なる充実



観光おもてなし美化活動の推進 5,192万円

我が国を代表する国際観光都市として、おもてなしの心で観光客の皆さんを迎えるため、市内観光史跡地の草刈りやトイレの維持管理、幹線道路の美化活動などに積極的に取り組みました。

第3の戦略 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想（圏域拡大戦略）

令和文化会議の定期的開催



万葉大茶会の開催 150万円

万葉集編さん者・おともものやかもろ、元号「令和」の由来となった「梅花の宴」を茶会形式で再現する「令和の万葉大茶会」。家持の父・おともものたびとを催した太宰府が会場になりました。

史跡の先進的多用途活用の更なる強化

大宰府跡整備基本計画策定 351万円

計画策定へ向けた利用実態調査や関係者の意見交換会を実施。令和5年度は現況調査を続け、「大宰府跡整備基本計画」の素案の作成を進めました。

歴史的街なみの保全 2,573万円

太宰府天満宮参道沿いの歴史的な建造物や光明寺本堂を保存修理。歴史的な通りにある宅地の沿道に対する緑化費用を助成。歴史的な街なみの保全を推進しました。

先端技術を用いた文化財の活用 439万円

史跡の先進的多用途活用のため、先端技術を導入した3次元データ解析・生成システムを活用して、市内文化財の3Dデータをインターネットで公開。3Dプリンターによる複製資料の制作、タブレット端末による普及活動を「まるとと太宰府歴史展」と連動し実施しました。

太宰府市応援団の活用・拡大

文化芸術振興事業 95万円

初の市主催カラオケ大会「令和の都だざいふ〜歌うま選手権〜」を開催。本選では、令和の都だざいふ応援大使*の高田課長さんが司会を務め、一般の部12人・ペアの部5組が出場、450人を超える来場者が大きな拍手や声援を送りました。

国・県・自治体の広域連携の前進



日本遺産の広域連携推進 840万円

日本遺産「西の都」について、国県や近隣自治体と広域・多面的に連携して、相乗効果を発揮。史跡解説員やまちあるきガイドとして活動する人を対象に、日本遺産「西の都」の魅力発信の担い手を育てる講座を開催しました。
ホームページで日本遺産を楽しむためのコンテンツを公開。積極的に普及啓発活動をしました。

戦略的シティプロモーションの強力な推進

シティプロモーションの推進 216万円

住まう人・訪れる人への情報伝達向上のため、新たな手法を検討。SNSや電光掲示板をはじめ、あらゆるメディアで市政・防災・観光情報を一体的に発信しました。
おとものタビットのキャラクターグッズを作成。俳優・福田愛依さんを「令和の都だざいふ応援大使*」に新たに委嘱し、イベント出演や広報紙への寄稿をしてもらいました。



※令和の都だざいふ応援大使の就任状況は、本年10月16日時点 宮本雄二さん、道下美里選手、高田課長さん、おとものタビット、福田愛依さん

安心安全・バリアフリーの更なる推進

通学路交通安全対策の推進 1,787万円

関係機関が合同で通学路を点検した結果をもとに、見通しが悪く、車がスピードを出しやすい箇所を中心に、水路の蓋掛けや植樹帯の改修を実施。歩道を確保、見通しを良くし、児童生徒の登下校時の交通安全対策に取り組みました。



安心安全のまちづくり道路改良工事 1億9,181万円

交通環境を良くし、市民の安心安全な生活を守るため、渋滞対策で重要な観世音寺土地区画整理事業61号線道路、関屋・向佐野線道路などの改良工事をしました。

子どもの居場所づくり・シングルマザー支援事業

子どもの第3の居場所開設 1,237万円

家庭や学校に居場所のない子どもの第3の居場所「ぎんももひろば」を市内に開設しました。地域全体で子育てを行う社会を目指して、不登校の子ども、家庭や学校生活に困難を抱える子どもたちの生活習慣の形成、学習サポート、相談支援、食事提供などを担う場所を作りました。

多様性の確保の更なる具体化

女性相談体制の拡充 597万円

主にDVに関する相談を受けてきた女性相談の対象を拡大、就職氷河期世代の抱える問題や性的マイノリティに関する相談にも対応。多様性に配慮した相談体制を充実させました。



国際交流・姉妹都市交流の推進 987万円

国際交流員を配置。令和4年度に姉妹都市提携10周年を迎えた韓国扶餘郡と交流し、市内小学校の国際交流に関する授業を支援しました。太宰府市国際交流協会と連携し、市民向け講座やイベントを開催。在住外国人や留学生を支援しました。



障がい児者や就職氷河期世代の福祉の増進

医療的ケア児等在宅レスパイトケア支援事業 5万円

在宅の医療的ケア児等を看護・介護する家族の負担を軽減するために、訪問看護の延長利用費用の一部を助成。必要な障がい福祉サービスに係る給付、その他の支援などを通じて、障がい者の更なる福祉を増進しました。

就職氷河期世代を含めた職員採用・育成の充実 357万円

就職説明会を開催、外部説明会にブースを出展。楠田市長から参加者へまちづくりのビジョンを説明しました。
令和5年度から就職氷河期世代採用枠をキャリア採用枠に変更し、大卒採用を含めて、切れ目なく幅広い年齢の人が受験できるようにしました。
市独自のインターンシップを企画し、大学や高校からの学生インターンを受け入れ、優秀な人材の確保に努めました。

古都大宰府を彩る歴史と文化の環境税 編

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線548)
税務課 歴史と文化の環境税推進係(☎内線380)
ページID:3045

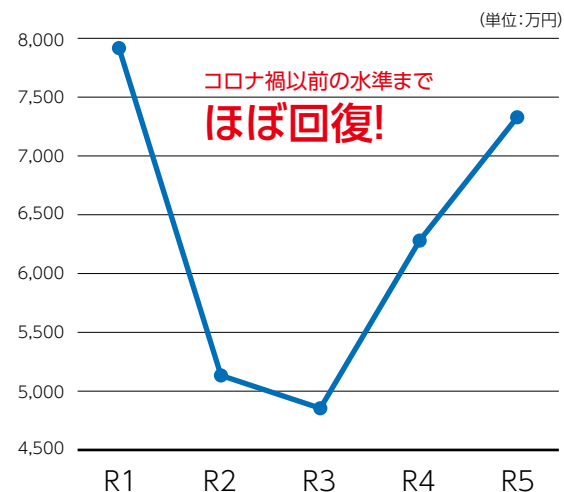
本市固有の歴史的文化遺産と観光資源を保全・整備し、環境にやさしい「歴史とみどり豊かな文化のまち」を創造するために、市内の一時有料駐車場の利用者に課税しています。

令和5年度は約7,397万円の税収がありました。納税者・駐車場事業者の皆さん、理解と協力をありがとうございました。本税の趣旨に沿ったさまざまな事業へ活用しています。令和5年度は基金から約6,613万円を活用しました。

税収額の推移

年度	税収額
R5	73,974,650円
R4	63,281,150円
R3	48,417,100円
R2	51,312,600円
R1	79,382,800円

一時有料駐車場への駐車1回につき、バイク50円、普通車100円、マイクロバス300円、大型バス500円を課税しています。



主な活用事業の例



特別史跡水城跡のコスモス



太宰府天満宮本殿の修理



幹線道路周辺の美化



まると太宰府歴史展の開催



九州国立博物館特集展示のフラッグ掲出

第4の戦略 1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想(行財政改革戦略)

行財政改革の更なる断行



ふるさと納税の推進 9億9,432万円

魅力ある返礼品を拡充。ポータルサイト増設や効果的なプロモーションにより、昨年度比約1.5倍増の寄附額18億3千万円の飛躍的増加を達成しました。

妊娠や出産、子育ての
悩みや困りごとなど
いつでも気軽に相談を



窓口機能の充実・強化を始めとする組織再編



こども家庭センターの開設 1,637万円

令和6年2月にこども家庭庁が設置を進める「こども家庭センター」を、子育て支援センター(うめっこテラス)の中に開設。
妊産婦・子ども・子育て世帯を支援するため、妊産婦や乳幼児の保護者を支援する「母子保健担当」と、心配ごとを抱えた子どもや家庭を支援する「児童福祉担当」を一体化して体制を強化しました。

新しい公共の促進

通いの場への積極的支援 1,324万円

後期高齢者が集まる「通いの場」15カ所で健康教育を実施。
健診の結果に応じて、生活習慣病の重症化やフレイルの予防対策が必要な高齢者の自宅を訪問しました。訪問先で保健指導し、状況に応じて必要なサービスが利用できるよう支援しました。

放課後子ども教室 203万円

地域コーディネーターをはじめとする地域人材や市内大学生の協力のもと、子どもたちの安全で健やかな居場所と多様な体験活動を提供する「放課後子ども教室」を実施。
実施校を3校に拡大し、より多くの子どもたちに体験活動の場を提供しました。



ゼロカーボンシティの推進



地球温暖化対策の推進 775万円

ゼロカーボンシティの実現に向け、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)、戸建住宅用再生可能エネルギー発電等設備、次世代自動車の導入を促進するために補助金を継続して交付しました。



街路灯防犯灯などのLED化 916万円

街路灯や防犯灯、公共施設の照明をLED化。ゼロカーボンシティの実現に寄与し、消費電力量およびCO2排出量を削減。従来よりも明るく安心安全なまちづくりを推進しました。

DXの推進と人材育成

交通情報案内システムの充実 554万円

本市の慢性的課題の渋滞解消を図るために、市内の渋滞情報や交通状況をウェブサイトやカーナビで配信。システムを充実させて事業効果を高めるため、駐車場の満車空車情報の自動判定化を検討しました。

